

市民人権部人権政策課

1 学校における人権教育の推進

(1) 米子市人権教育推進プランの進行管理

ア 米子市人権教育推進会議の開催 2月24日

イ 米子市人権教育推進会議課題別部会の開催 1月28日～2月5日 8回

(2) 研究指定校の実践

ア 第31回米子市中学校区人権教育研究発表会

(米子市教育委員会、米子市人権・同和教育推進協議会共催)

期 日 平成20年11月18日(火)

目 的 保・幼・小・中学校の一貫した人権教育の実践を通し、研修することを目的とする。

対象校区 東山中学校区 保育園・幼稚園・小学校・中学校・特別支援学校

主 題 「一人ひとりを大切にし、互に認め合い、高め合う子どもの育成

～保・幼・小・中・特別支援学校の一貫した人権・同和教育の実践を通して～」

各校・園及びPTA分科会テーマ(園は公開保育担当園のみ)

いづみ保育園 「自分の思いや考えを伝え合い、仲間と喜びを感じ合える子どもの育成」

米子みどり幼稚園 「遊びを通して、一人ひとりを大切に認め合う仲間づくり」

啓成小学校 「自ら学び、自ら考え、共に高め合う子どもの育成

～語り合い、ひびき合い、つながり合う人権教育の実践を通して～」

車尾小学校 「認め合い、自分が輝く、学びが輝く ～友情と感性を磨き合う子どもの育成～」

東山中学校 「確かな学力と豊かな心を持った生徒の育成

～語り、受けとめ、共有できる人間関係づくり～」

米子養護学校 「他とのかかわりを通し自分を見つめ、前向きに生きようとする子どもの育成

～自立活動を通して～」

PTA部会 「豊かにつながる人権の校区(まち)づくり ～すべての命に『ありがとう』～」

(3) 学校教育における人権教育の研究及び活動の推進

ア 米子市小・中・特別支援学校人権教育主任研究協議会 2回

イ 米子市同和地区関係校人権教育主任研究協議会 6回

ウ 米子市小・中・特別支援学校人権教育研修講座

・対象別研修 3回 延べ172名参加

学校管理職対象、人権教育主任対象、講師対象、学校図書職員対象

・課題別研修 8回 延べ333名参加

同和問題、外国人、障がい者、男女共生、子ども、高齢者、健康や性、情報

エ 学校計画訪問 延べ53校

オ 学習相談等

校内研修への指導助言

児童生徒のフィールドワークへの対応

(4) 調査研究

- ア 児童生徒人権問題意識調査
- イ 人権教育推進状況調査
- ウ 外国人児童生徒等に関する状況調査
- エ 外国人児童生徒等教育的支援策に関する研究
- (5) 指導資料の作成・活用
 - ア 人権作文・標語集「よなご」第30集発刊 750部 作文45 標語299掲載
 - イ 同和教育資料「あおぞら」に関する情報収集・提供
 - ウ 人権教育保護者啓発資料「まごころ」発刊 1,500部
 - エ 小学校入学準備ガイドブック（日本語版・英語版・タガログ語版）作成
- (6) 児童生徒及び幼児の活動
 - ア 夏休み子ども人権講座 7月30日～7月31日 2講座 延べ45名参加
 - イ 米子市同和地区児童交流会 7月22日
 - ウ 米子市同和地区生徒交流会 7月23日
 - エ 同和地区高校生研修
 - ・奨学金支給時における研修 延べ6回
 - ・夏季一泊研修 8月5日～6日
 - オ なかよし交流会（外国にルーツをもつ子どもたちの交流会） 8月4日

2 社会における人権教育の推進

(1) 市民啓発

- ア 中学校区人権問題講演会 東山・湊山・加茂中学校区
- イ 社会教育指導者養成
 - (ア) PTA人権教育研修講座 年3回開催 延べ870人参加
 - (イ) 人権教育地区推進員研修講座 年5回開催（米子市人権教育地区推進員54人を対象）
- ウ 中学校区社会・学校人権教育関係者連絡協議会 11中学校区
- エ 社会教育団体の研修
- オ 社会教育振興事業
- カ 人権教育地域懇談会開催 市内23校区にある人権・同和教育推進協議会に委託し、27公民館で年84回開催

(2) 企業啓発

人権教育推進員を派遣し、企業等に対し人権問題に関する講演や研修体制の指導・助言を行い人権問題啓発を行った。

- ア 講演実施回数 延べ 53回

(3) 社会を明るくする運動

- ア 開始式 6月29日（日）米子市淀江文化センターさなめホール
- イ 少年育成各種スポーツ大会
 - 剣道大会7月19日 卓球大会8月1日 野球大会8月2、3日 ソフトテニス大会8月5日
- ウ 施設訪問 7月16日 美保学園、喜多原学園

3 人権情報センター

(1) 利用状況

- ア 図書資料貸出総数 483冊 (蔵書総数 4,176冊)
- イ 啓発ビデオテープ貸出総数 359本 (所蔵総数 410本)
- ウ フィールドワークの受入れ 20件

(2) 人権に関する情報の収集

- ア 収集・購入した図書資料 141冊
- イ 収集・購入した啓発ビデオテープ 8本
- ウ 県内外の人権啓発機関誌・資料等

(3) 人権に関する情報の提供

- ア 「よなごの人権フォーラム '08」の開催
期日 平成20年12月7日
場所 米子コンベンションセンター 多目的ホール
- イ 「市民向け人権学習講座」の開催
期日 平成20年6月17日、7月15日、8月21日、9月9日、10月6日、11月7日(計6回)
- ウ 「特別講座」の開催
期日 平成21年3月9日(1回)
- エ 人権情報センター機関紙「ひゅーまんらいつ」発行(年12号)
- オ 「ホームページ」による情報提供

4 推進団体の育成支援

(1) 米子市人権・同和教育推進協議会

- ア 米子市補助金 3,558,000円
- イ 主な事業

(ア) 第34回米子市人権・同和教育研究集会

- 期日 平成21年1月22日(木)
- 会場 米子コンベンションセンターほか
- テーマ 「みんなで差別をなくし幸せな社会を実現しよう」
- 午前 全体会 意見発表 2名
記念講演 「ぬくもりを感じて」
講師 徳島人権・同和教育講師団講師 中倉茂樹氏
- 午後 分科会 7分科会
- 参加者 820人

(イ) 研修会、研究集会派遣事業

- 第33回 人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会 参加
- 期間 平成20年8月7日～8日(鳥取県立倉吉未来中心大ホールほか9会場)

(ウ) 研究委託事業

部 会 名	事 業 名	備 考
就学前教育部会	就学前人権・同和教育研究委託	保育園に研究委託
学校教育部会	中学校区人権・同和教育研究委託	市内11中学校区

部 会 名	事 業 名	備 考
社 会 教 育 部 会	広報発行委託	人権・同和教育広報発行
	P T A研究委託	2 中学校区 P T A に人権・同和教育研究委託

(エ) 同和地区進出学習会

4 小学校（5 地区）、3 中学校（5 地区） 指導者 延べ 5 5 0 人

目 的 同和地区児童生徒の自らが置かれている社会的立場の自覚を深め、学力及び生活力の向上と適正な進路指導を行うことを目的とする。

(2) 米子市同和问题企業連絡会

同和问题の解決の上で企業がその社会的責任の重要性を自覚し、同和问题を自らの問題として主体的、自主的にその解決に向けて取り組んでいくことを目的として平成 8 年 1 1 月に設立された「米子市同和问题企業連絡会」に対する補助金の交付等事業支援を行った。

ア 米子市補助金 4 0 9, 0 0 0 円

イ 会 員 数 7 3 社（平成 2 1 年 3 月 3 1 日現在）

ウ 主な事業内容 定期総会、幹事会（5 回）トップ及び担当者研修会、新規採用者研修会（2 回）、県内外の各種集会・研修会への参加等

5 同和対策関係

(1) 隣保館事業

福祉の向上や人権啓発の住民交流の拠点となる開かれたコミュニティーセンターとして、生活上の各種相談や人権課題の解決のための各種事業を総合的に行った。

ア 啓発・広報活動（隣保館講座の開催、隣保館だよりの発行等）

イ 相談事業（生活上の相談や人権に関わる相談への助言、指導）

ウ 地域交流事業（各種教養講座、学校や P T A との交流会の開催等）

エ 地域福祉事業（健康講座、高齢者料理教室の開催等）

オ 識字・日本語教室（フィリピンやタイなどの出身の方々を対象とした日本語読み書き教室の実施）

(2) 生活相談員事業

地域住民の生活上の相談や人権に係わる相談を受け、必要な助言及び指導、関係機関と連絡調整を行い問題の解決に協力するとともに、地域の家庭訪問等をおこない地域住民の実態の把握及び福祉の向上を図った。

ア 相談件数（延べ件数） 4 2 9 件

イ 活動実績 訪問・電話等 1 6 0 回

(3) 地区会館運営事業

隣保館事業に準じた事業を行い、地域住民の福祉の向上を図った。

(4) 米子市同和対策高等学校等進学奨励金の給付

市内に住所を有する同和地区関係者で、高等学校、専修学校、大学等に進学する能力を有しながら経済的に修学が困難な者に対して進学奨励金を給付した。

高等学校 月額 8, 0 0 0 円 1 2 人に給付

専修学校 月額 1 8, 0 0 0 円 3 人に給付

大 学 月額 1 8, 0 0 0 円 9 人に給付

(5) 住宅新築資金等貸付事業に係る貸付金の償還事業

昭和41年度から平成8年度にかけて行った住宅改修資金、宅地取得資金、住宅新築資金貸付事業の償還事務を行った。

(6) 差別事象への対応

差別事象発生時には迅速かつ適切な対応を行った。

(7) 米子市同和事業推進協議会への支援

市内の同和地区住民によって組織された同協議会が行う同和問題の早期解決及び同和地区住民の社会的地位の向上を図るために実施する事業について支援した。

米子市補助金 1,724,000円

6 拉致問題関係

北朝鮮による拉致被害者として政府認定された和田町出身の松本京子さんのほか、市内では、古都瑞子さん、矢倉富康さんが消息不明で拉致された疑いが持たれている。松本さんの早期帰国を含めた拉致問題の早期解決に向け、県との合同会議の開催や世論を盛り上げるための市民啓発を行った。

(1) 県・米子市合同会議の開催 平成20年7月1日

(2) 拉致問題啓発パネル展の開催（3回）

第1回 平成20年6月27日～7月8日（山陰合同銀行米子シティ出張所）

第2回 平成20年7月9日～18日（米子市人権情報センター）

第2回 平成20年12月10日～16日（米子市役所本庁舎1階ホール）

(3) 「拉致問題の早期解決を願う県民のつどい」開催

平成20年11月30日 米子市文化ホール